



SNS 上の暴力行為動画の拡散を受けた**文科省通知**について

前号でも書かせていただきましたが、今般、SNS 上で子ども同士の暴力行為の様子が撮影され、動画として投稿・拡散されるケースが全国で相次いでいます。文部科学省からも、令和8年1月30日付で「SNS 上における暴力行為等の動画の投稿・拡散を受けた緊急の対応等について」という通知が発出され、全国の学校に対して早急な取り組みが求められています。今回の通知を受け、本校では以下の対応を進めてまいります。

1. 暴力行為・いじめに関する緊急確認

学校として、見過ごされている暴力やいじめがないかを把握するため、アンケートや面談などを通じて生徒の状況を丁寧に確認します。また、「こども向け相談窓口一覧」を別紙により配布します。

2. 情報モラル教育の強化

SNS での投稿や拡散は、時に深刻な人権侵害を生む可能性があります。また、誹謗中傷や悪質な投稿は犯罪にあたることもあります。これらについて、生徒に分かりやすく指導してまいります。

3. SNS 等で不適切な動画や情報が拡散した場合の対応体制

仮に本校に関わる動画や情報が投稿された場合には、速やかに事実確認を行い、必要に応じて警察など関係機関とも連携しながら、生徒の安全を守る対応を行います。

◆保護者の皆さまへのお願い

文科省通知でも、子どもを取り巻く大人との連携が大切であることが示されています。

- ・ ご家庭でも、SNS の使い方や投稿の危険性について、ぜひ話題にしてみてください。
- ・ お子さまの様子で「少しでも気になること」があれば、小さなことでも学校へご相談ください。
- ・ もし、SNS で不安な内容を見つけられた際は、学校まで速やかにお知らせください。

暴力やいじめは、どのような理由があっても決して許されるものではありません。そして、子どもたちが安心して学校生活を送るためには、学校・家庭・地域が連携して見守っていくことが何より大切です。今後とも、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

温かな**善意**に感謝申し上げます

地球上では毎日約4000人の子どもがワクチンがないために命を落としているそうです。7月に続き、先月も多くの皆さまのご協力により、ペットボトルキャップを届けることができました。「世界のどこかで誰かの命を救っている」と考えると、ささやかな取組が、とても尊い取組であることに気づきます。皆様の善意に感謝申し上げます。そして、今後も引き続きご協力くださいますようお願いいたします。

校長室より 冬来たりなば 春遠からじ

高校時代、数学が苦手だった私にとって、国語は点数の取れる数少ない教科でした。受験勉強で苦しんでいた時、現代文(国語)の先生から右の色紙をいただき、なんとか乗り越えることができました。日本の古いことわざだと思っていたら、イギリスの詩人シェリーの詩の一節であることを最近知りました(^^; 57を過ぎても学びの日々です。頑張れ山中生！

